

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成23年6月16日(2011.6.16)

【公表番号】特表2010-526537(P2010-526537A)

【公表日】平成22年8月5日(2010.8.5)

【年通号数】公開・登録公報2010-031

【出願番号】特願2010-507706(P2010-507706)

【国際特許分類】

A 2 3 B 7/02 (2006.01)

【F I】

A 2 3 B 7/02

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月21日(2011.4.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

果物又は野菜成分と、
乳化剤と、
増粘剤と
を含み、
低温殺菌されている、凍結乾燥し空気混和した果物又は野菜組成物。

【請求項2】

前記乳化剤が、乳酸モノ及びジグリセリド、ポリソルベート、カゼイン塩、ホエイタンパク質、卵白タンパク質、並びにこれらの組合せからなる群から選択される、請求項1に記載の凍結乾燥した組成物。

【請求項3】

前記乳化剤が、乳酸モノ及びジグリセリドである、請求項1に記載の凍結乾燥した組成物。

【請求項4】

ゲル化剤をさらに含み、前記ゲル化剤がゼラチンである、請求項1に記載の凍結乾燥した組成物。

【請求項5】

前記果物又は野菜成分が、前記組成物の60%~98%の量で存在する、請求項1に記載の凍結乾燥した組成物。

【請求項6】

前記乳酸モノ及びジグリセリドが、前記組成物の0.001%~1%の量で存在する、請求項3に記載の凍結乾燥した組成物。

【請求項7】

前記増粘剤が、デンプン、カラギーナン、グーガム、イナゴマメガム、ペクチン、及びこれらの組合せからなる群から選択される、請求項1に記載の凍結乾燥した組成物。

【請求項8】

前記乳酸モノ及びジグリセリドが、モノ及びジグリセリドの乳酸エステル、モノ及びジグリセリドのクエン酸エステル、並びに蒸留モノグリセリドからなる群から選択される、請求項3に記載の凍結乾燥した組成物。

【請求項 9】

前記乳酸モノ及びジグリセリドが、モノグリセリドの乳酸エステルである、請求項3に記載の凍結乾燥した組成物。

【請求項 10】

少なくとも1種の糖をさらに含む、請求項1に記載の凍結乾燥した組成物。